

# 学則変更の趣旨等を記載した書類

## 目 次

1	学則変更（収容定員変更）の内容	3
2	学則変更（収容定員変更）の必要性	
1)	収容定員変更の必要性が生じた背景	3
2)	収容定員変更の必要性	4
3	学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	
1)	教育課程の変更内容	6
2)	教育方法及び履修指導方法の変更内容	8
3)	教員組織の変更内容	9
4)	大学全体の施設・設備の変更内容	9

## 1 学則変更（収容定員変更）の内容

令和6年度から工学部工学科に、募集人員40名の「情報工学先進コース」を設置する。40名の内10名については、工学部内の定員を移動して実現する。また、大学院進学を前提とした入学者選抜を実施し、学部と大学院の教育に連携を持たせ6年間一貫となる教育を実施する。

	変更前（令和5年4月）			変更後（令和6年4月）		
	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
工学部	610	30	2,500	640	30	2,620

## 2 学則変更（収容定員変更）の必要性

### 1) 収容定員変更の必要性が生じた背景

岡山大学は、その理念「高度な知の創成と的確な知の継承」と目的「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」の下、第4期中期目標期間において、「岡山大学長期ビジョン2050：地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」及び「岡山大学ビジョン3.0：ありたい未来を共に育み、共に創る研究大学」を掲げ、多様なステークホルダーと志を共有してその実現を目指している。

このビジョン実現に向けて、教育においては、新たな価値創造と世界の革新に貢献できる「主体的に変容し続ける先駆者」を養成することを使命に掲げている。特に、サステナビリティとウェルビーイングを追究する研究大学として、人文・社会科学から自然科学・医療にわたる幅広い専門知・実践知と、AIやデータサイエンスをはじめとする新たなリテラシーとの分野横断的な統合による「総合知」の創出・活用を通じて、データ駆動型社会におけるグローバル人材育成を目指している。

その中で、大学院レベルでのデジタル・AI・情報工学等の成長分野の人材育成については、大学院医歯薬学総合研究科において、令和2年度文部科学省事業「保健医療分野におけるAI研究開発加速に向けた人材養成産学協働プロジェクト」に東北大学、北海道大学との連名で採択され、AIを医療に活用できる人材の育成を開始しており、令和5年4月に従来の4専攻から医歯薬学専攻の1専攻3学位プログラムに改組するとともに、専攻共通科目「医療データサイエンス」と、「メディカルデータサイエンスイノベーター養成プログラム」の設置を行って、デジタル・AIを活用できる人材育成の一層の強化に取り組んでいる。令和5年4月に改組した大学院環境生命自然科学研究科においては、4学位プログラムに再編し、4つの学位プログラム全ての学生が履修可能な専攻共通の「IoT・AIサブプログラム」を設置し、IoT・AI・セキュリティ技術に関するエキスパートレベルの人材養成のプログラムを提供している。文系の大学院教育に関しては、令和3年度文部科学省事業「統計エキスパート人材育成プロジェクト」のコンソーシアムに参画し、大学院生の統計教育拡充を担う若手研

究者の養成を開始している。また、令和4年度文部科学省事業「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業 ～Xプログラム～」に採択され、大学院教育学研究科において「教育学の専門知とICT・DS力を融合したトランスフェラブルな力を身に付け、これを俯瞰的に活用できるデータ駆動型社会を牽引できる先駆者」を育成するプログラムを構築中である。また、学部教育においては、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」において、令和3年7月にリテラシーレベルに認定され、応用基礎レベルを令和5年5月に申請している。リテラシーレベルは全学で必修科目であり、応用基礎レベルは全学において部局の独自性を持たせて開講している。

令和4年4月には、上記の活動の強化を目的に「岡山大学 AI・数理データサイエンスセンター」を設置した。AI・数理データサイエンスに関する教育研究を全学的に推進して質の高い研究者・専門技術者を養成・輩出するとともに、データの集約・活用のためにサービスの開発・運用ができる人材の育成やコミュニティ構築によって社会貢献に取り組んでいる。

これらのデジタル・AI・情報工学の人材育成の取組について、①学部においては、デジタル・AI・情報工学の知識・スキルを Society 5.0 時代に必要な「よみかき・そろばん」としてとらえ、文系・理系を問わず広く遍く身に付けさせること、②大学院においては、様々な分野の専門知識とデジタル・AI・情報工学の知識・スキルとを掛け合わせることで、イノベーションを創出できる人材を育成すること、に力を入れてきたと言える。一方で、高度情報専門人材とは、デジタル・AI・情報工学の基礎を学び、本質を捉えた上で知識・スキルを応用してイノベーションを創出できる人材であり、単にデジタル・AI・情報工学を使える「情報関連人材」ではない。高度情報専門人材の育成のためには、基礎知識の修得はもとより、高度情報専門人としての志を抱きつつスキルを修得することが重要と考える。

また、独立行政法人情報処理推進機構が発行している『DX 白書 2023』によると、DXを推進する人材が「大幅に不足している」と回答した企業の割合は、2021年度調査（297社が回答）の30.6パーセントから、2022年度調査（375社が回答）で49.6%に増加している。2021年度に行われたIPA「デジタル時代のスキル変革等に関する調査」（1,410社が回答）では、IT人材に今後身に付けさせるべきスキルは、上位から「人、プロジェクトやタスクのマネジメントスキル」（63.8%）「業務関連コミュニケーションスキル（ファシリテーション、プレゼンテーション等）」（60.0%）「先端技術領域のスキル（AI、IoT、データサイエンス等）」（52.2%）であり、社会において、DXを推進する人材、情報系人材は質量ともに不足している状況にあり、より多くの情報関係の人材育成が望まれていると考えられる。

## 2) 収容定員変更の必要性

令和3年度に、旧工学部と旧環境理工学部の統合再編によって現在の工学部が誕生した。養成する人材像は、社会の要請に応じ、「幅広い視野をもち、社会課題を発見・把握し、主体的に解決できる創造的な工学系人材」であり、新たな工学系教育プログラムの特色は、「Society5.0 for SDGsの実践的教育」である。

新たな工学部では、工学部全体を工学科 1 学科とすることで工学部の全ての領域で学生の志望の変化に対応できるようにするほか、学生定員に縛られる学科ではなく、教育課程をベースとした「系」を学科内に置くことにより、工学の専門分野の人材養成に関する社会的ニーズの変化に対して、柔軟かつ速やかに対応できることを目指した。既存の学科制で陥りやすい視野の狭いタコつぼ型教育から脱却し、高い専門性を担保しつつ、それにとどまることのない幅広い視野を持ち、社会課題に主体的に取り組むことができるよう、系・コース制とすることとした。具体的には、機械システム系、環境・社会基盤系、情報・電気・数理データサイエンス系、化学・生命系の 4 系での構成である。

新たな工学部における 4 系のうち特に Society5.0 の実現を牽引するために、工学部情報系学科、同電気通信系学科及び環境理工学部環境数理学科を再編した「情報・電気・数理データサイエンス系」では、めまぐるしい技術革新を迅速に社会実装できる専門人材を養成する。これらの広範囲にわたる分野の専門的技術を学生の興味に応じて系統的に修得できるように、「情報工学コース」、「ネットワーク工学コース」、「エネルギー・エレクトロニクスコース」、「数理データサイエンスコース」の 4 つの教育カリキュラムを設定し、コースごとの特長ある教育プログラムを通じ、先端技術を国内外及び地域に還元できる高度専門技術者、研究者を養成する。「情報工学コース」では、コンピュータとその周辺技術に関する基礎知識と情報処理技術を学修し、コンピュータとそれを利用した社会情報システムや知能システムに応用できる能力を有する情報処理技術者・研究者を養成する。「ネットワーク工学コース」では、コンピュータネットワークやセキュリティ、有線・無線通信の知識・技術を学修し、いつでもどこでも安全かつ高速な情報の送受信に不可欠な通信ネットワーク・コンピュータネットワークの開発に寄与する技術者・研究者を養成する。「エネルギー・エレクトロニクスコース」では、エネルギーの有効活用に寄与するデバイスやシステムに関する技術を学修し、グローバルなエネルギー問題の解決や各種デバイス・材料の開発に貢献できる電気電子工学分野の技術者・研究者を養成する。「数理データサイエンスコース」では、数理を基盤として様々な現象のシミュレーションやデータの分析・活用法を学修し、データサイエンスの知識・技能に基づいて社会の諸問題を客観的な議論や判断で解決する能力を身につけた技術者・研究者を養成する。これらを踏まえ、1・2 年次には、工学部共通の専門基礎科目に加え、上記各専門分野の基礎知識を身に付けるための系科目を提供する。2・3 年次には、各コースの専門分野における諸問題を発見・把握し、的確に理解する能力を身に付けるために、コース専門科目として専門性の高い講義や実験、演習科目を提供する。さらに、4 年次の特別研究では、3 年次までに修得した基礎知識や専門知識を実際に用いて課題解決に取り組むことで、実践的な人材養成を行う。

このように、令和 3 年度の工学部の再編では、デジタル・AI・情報工学の教育に関しては、①Society5.0 の実現に中心的な役割を果たす人材を育成するために「情報・電気・数理データサイエンス系」を設置するとともに、工学部の中で最大の目安定員を割り当てたこと、②段階的に専門領域の絞り込みを行うコース制を採用することにより、各人の専門学問領

域に対するマッチングの確率を高め、意欲的に学びに取り組める枠組みとしたこと、がポイントであった。

一方で、入学時から強い意思を持ってデジタル・AI・情報工学を学びたい受験生の存在への対応が課題として明らかとなった。多くの受験生が、「工学」で学べる内容の理解や卒業後の進路について、情報不足、理解不足に陥る一方で、大学入学以前からデジタル・AI・情報工学に強い興味、夢、志をもって受験する学生が一定数存在することも事実であり、現状の教育プログラムの構成では、このようなニーズに対応することができていない。また、高い志を持って入学する学生は、大学院への進学を希望する場合が多く、大学から大学院への進学を前提とした一貫プログラムであれば、高度なスキル、多様な視点、社会貢献の動機付けなど、6年間を有効に活用することによって従来のプログラムでは実現できていなかった人材育成が可能だと考えられる。

旧工学部の情報系学科の志願倍率は年々上昇して令和2年度(2020年度)には3.15倍となった。新工学部では情報に関わる勉学の機会を増やすべく、情報・電気・数理データサイエンス系を190人の最大目安定員とし、志願倍率は2倍前後で推移している。一方、当該系のコース希望調査によれば、入学直後の5月の段階で希望しているコースが決まっている学生のうち、情報工学コース(目安定員60名)を第1希望とする学生は114名となっており、工学部再編の学年進行中であるが、情報工学コースの定員増が喫緊の課題となっている。

上記の課題を解決するとともに、現在の企業ニーズと今後のデジタル化社会に求められる高度情報人材を養成し、社会が情報人材に求めるマネジメントスキル、コミュニケーションスキル、先端技術情報スキルを修得させるため、現在申請中である文部科学省の大学・高専機能強化支援事業(高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)を活用して、学部と大学院の6年間一貫の教育プログラムを構築することにより、令和6年度から工学部工学科に、募集人員40名の「情報工学先進コース」を設置する。40名の内、10名については工学部内の定員を移動して実現する。なお、このコースは、機械システム系、環境・社会基盤系、情報・電気・数理データサイエンス系、化学・生命系とは独立に設置し、大学院進学を前提とした入学者選抜を実施する。

### 3 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

#### 1) 教育課程の変更内容

「情報工学先進コース」では、産業界を含む社会をリードしうるディグリー・ポリシーを定め、情報処理学会が策定したカリキュラム標準 J17 に基づきカリキュラムを編成する。J17 は世界標準である米国 ACM/IEEE-CS2001-2005 を土台としている。カリキュラムの特徴は、工学部の分野横断型の科目設定に加え、入学時にコースを確定させることで早期から専門科目とプログラミングコンテスト参加を行う実践型科目にあり、これらを通して課題発見・解決能力や実践力を養成する。

具体的には、工学部共通で開講する教養教育科目のSDGs 関連科目、数理・データサイエンス科目（基礎）、倫理教育科目、系概論科目や、同じく工学部共通で開講する各専門領域の基礎となる数理・データサイエンス科目（発展）等の専門基礎科目及び情報・電気・数理データサイエンス系情報工学コースと共通で開講する各専門領域の知識と技術を修得するための専門科目の履修に加え、以下に述べる特色ある教育によって、デジタル・AI・情報工学の基礎を学び、本質を捉えた上で知識・スキルを応用してイノベーションを創出できる人材を養成する。

まず、入学時に希望進路が確定していることを生かし、1年次第3～4学期に必修科目「情報工学入門」を配置する。この科目では情報工学分野の特別研究中間・最終発表会及び「実践プログラミング」、「高度実践プログラミング」に参加し、先輩学生の発表等を通して得られた知識や自身の考えをレポートにまとめる。本科目を通して本学における最新の研究内容を把握するとともに、様々な社会課題の発見や解決に情報技術が重要な役割を果たすことを理解する。

2年次には研究活動を体験する必修科目「情報工学探究」を配置する。学生は研究室に一定期間（例えば一研究室あたり2か月間）所属し、研究室で行われている研究報告会、文献輪読、研究プロジェクト等の活動に参加する。早い段階で研究に触れることにより、新たな専門知識を獲得するのはもちろんのこと、課題発見及び解決のための思考法を学んだり、将来の研究テーマや目標とする研究者・技術者像を意識することが期待される。研究室活動終了後には、活動内容や新たに得られた知識・技術をまとめた報告書を作成し、専門知識の理解と技術表現力の向上を図る。各学生はこの活動を二つの研究室で行う。なお、研究室への本配属は情報工学コースと同じく4年次進級時とする。

学部2年次から3年次にかけては、知識やスキルを応用して課題を解決する能力を養成する必修科目「実践プログラミング」を配置する。学生は少人数のチームを結成し、学外で開催されるプログラミングコンテスト等に参加する。チーム結成からコンテスト内容の調査、準備、コンテスト参加、コンテスト終了後の報告会まで数か月にわたって取り組むことを想定して通年科目とし、各学生は自身のプログラミングスキルや学習計画に応じて2年次に履修するか3年次に履修するかを選択する。コンテスト終了後の報告会には「情報工学先進コース」1年生にも参加してもらい、次年度以降のコンテスト参加に向けた情報収集やプログラミングスキル向上のための自主学習を促す。なお、情報工学コース担当教員の中には、セキュリティコンテストに参加する学生をサポートして多数の受賞を獲得させた者やFPGA (Field Programmable Gate Array) コンテストの運営経験を有する者がいるため、これらの教員の経験や知見を活用して学生の指導を行う。

なお、新設の「情報工学先進コース」と既存の情報工学コースの違いは、大学入学時に学びたい専門性を明確に決めているか否かによるものである。「情報工学先進コース」は、入学前から情報工学分野への進路希望が固まっていた大学院進学の高い意思を有する学生が対象である。コースが決まっているため1年次から研究に触れ、コンテストなどでチームワ

ークも身に付けながら情報工学を学ぶことができる。よって、「情報工学先進コース」では、実践力、探求力が強化されると想定しており、それを生かして大学院への進学に繋がるように指導する。一方、既存の情報工学コースは、入学後1年を掛けてじっくり卒業後の進路も検討したうえで、情報工学分野への進路を決めたい学生が対象である。コース選択において、情報・電気・数理データサイエンスの内容を学ぶため、広い視野をもちつつ情報工学を身に付けることができる。

## 2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

地元企業、他大学学生、異分野教員との連携による実践的高度情報教育について、工学部「情報工学先進コース」の科目「実践プログラミング」や、大学院環境生命自然科学研究科環境生命自然科学専攻（博士前期課程）数理情報科学学位プログラム計算機科学コースにおける科目「高度実践プログラミング」においては、当コースの学生のみでチームを結成することにこだわらず、他大学や高専の学生にも参加を積極的に呼び掛ける。他大学や高専の学生を含むチームは、Teams や Zoom などのオンライン会議ツールやその他のグループウェアを活用し、遠隔地にいるメンバーで協力してソフトウェアを開発する。これは正にポストコロナ時代のソフトウェア開発体制であり、実践的高度情報人材の育成につながる取り組みである。地元企業には、「実践プログラミング」における学内審査や、「高度実践プログラミング」における課題提供・助言・学内審査等で協力を依頼する。これらの関わりを通して学生は企業技術者の視点や評価基準を学び、実践力を高めることができる。

大学院博士前期課程への接続の強化として、「情報工学先進コース」の学生は、2年次の「情報工学探究」において複数の研究室の活動に参加するために早い段階で多くの大学院生との接点を持ち、大学院博士前期課程進学を強く意識する。「実践プログラミング」においても、「情報工学先進コース」出身の大学院生が学部生をサポートすることを想定しているため、学部生と大学院生のつながりは強化される。

「情報工学先進コース」の優れた学生については、推薦入試を活用して学部から大学院へのスムーズな接続を可能にする。これにより4年次に研究に専念できる期間を長く確保できる。また、博士後期課程への進学を希望する学生には、先取り履修制度や先取り履修&早期修了制度を活用して早期の博士号取得を促進し、学术界または産業界で自立して活躍できる研究者または技術者を養成する。岡山大学は、産業界で活躍できる博士人材の育成にも力を入れており、学内の「教育推進機構 学生支援部門」に「博士人材キャリア開発セッション」を設け、博士後期課程を修了した学生の産業界への就職のサポート体制を整備している。その中で、博士人材を受け入れる企業の開拓に尽力しており、高度情報専門人材と情報関連企業のマッチングにも力を入れている。また、岡山大学は一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会に参加しており、大学院生が企業で中長期研究インターンシップを行う体制も整っている。このように、博士後期課程修了後に情報関連企業へ進むキャリアパスが開拓されている。



### 3) 教員組織の変更内容

現在、情報工学コース（目安定員 60 名）を担当している 20 名の教員と、新規に採用する 10 名の教員が、工学部の情報工学コースと「情報工学先進コース」（募集人員 40 名）、および大学院の計算機科学コースの教育を担当する。10 名の内訳は、教授 4 名、准教授 3 名、助教 3 名であり、現在の教員ではカバーできていない分野の研究者や実務経験のある研究者・技術者を公募により採用する。具体的には、人工知能分野で教授 1 名、准教授 1 名、助教 1 名を、高性能計算またはビッグデータ処理分野で教授 1 名と助教 1 名を、情報システム分野で教授 1 名と助教 1 名を、メディア処理/アルゴリズム/セキュリティの分野で教授 1 名と准教授 1 名を、量子計算またはその他の新技術分野で准教授 1 名を採用する計画である。現在、企業の研究所に在籍している候補者や他大学の当該分野の教員への声掛けを行っている。また、海外の研究者（日本人に限らない）も模索中であり、数人の候補者をリストアップしている。10 名とも令和 6 年度までの着任を想定している。

定員増前の工学部の学生定員 2,500 名に対して教員数は 208 名であり、教員 1 人当たりの学生数は 12.02 人である。定員増後の学生定員 2,620 名に対して、教員 10 名を採用した場合の教員数は 218 名で、教員 1 人当たりの学生数は 12.02 人であり、定員拡充前と比較して、同等の教育研究の質を担保できる。

### 4) 大学全体の施設・設備の変更内容

「情報工学先進コース」の設置に向け、教員室及び研究室の整備、プログラミング演習室の整備が必要となるが、工学部の教育・研究スペースを整備することにより対応する。

教 育 課 程 等 の 概 要															
(工学部工学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教養 教育 科目	導入共 育 ガイ ダン ス	『岡山大学入門講座』	1①	○	0.5			○						2	
		『キャリア形成基礎講座』	1①	○	0.5			○						3	
		機械システム系入門	1①	○	1			○			2	2			
		環境・社会基盤系入門	1①	○	1			○			1	2			
		情報・電気・数理データサイエンス系入門	1①	○	1			○				1			
		化学・生命系入門	1①	○	1			○			4	2			
		情報工学先進コース入門	1①	○	1			○			7			1	
			1①	○	1			○			4				
	補 習 教 育	初等数学1	1①			1	○							1	
		初等数学2	1②			1	○							1	
		初等生物学1	1①			1	○							1	
		初等生物学2	1②			1	○							1	
		初等物理学1	1①			1	○							1	
初等物理学2		1②			1	○							1		
小計(13科目)		-	-	6	0	6	-	-	-	14	4	0	1	0	12
知 的 理 解	現 代 と 社 会	哲学史への招待	1~2①②③④		1		○							1	
		臨床死生学入門	1~2①②③④		1		○							1	
		日本語の音声	1~2①②③④		1			○						1	
		教養としての日本文学	1~2①②③④		1			○						1	
		唐詩の四季	1~2①②③④		0.5			○						1	
		地域を語る史料	1~2①②③④		1			○						1	
		セクシュアリティの文化史1	1~2①②③④		1			○						1	
		アジアを知る	1~2①②③④		1			○						2	
		地理学基礎論	1~2①②③④		1			○						1	
		日本語学と言語表現	1~2①②③④		1			○						1	
		いじめの憲法学-生徒の人権と学校の責務-	1~2①②③④		1			○						1	
		日本国憲法	1~2①②③④		2			○						1	
		Current Political Events	1~2①②③④		1			○						1	
		現代コミュニティーと地域創生	1~2①②③④		1			○						1	
		フードシステムの経済	1~2①②③④		1			○						1	
		所得の格差を測る	1~2①②③④		1			○						1	
		日本語研究と教材作成	1~2①②③④		1			○						1	
		日本語教授法概論	1~2①②③④		1			○						1	
		言語と社会	1~2①②③④		1			○						1	
		大学と社会	1~2①②③④		1			○						1	
		日本のポップカルチャー紹介	1~2①②③④		1			○						1	
		現代国際事情	1~2①②③④		1				○					1	
		生命保険を考える	1~2①②③④		1				○					1	
		地域研究:アプローチと方法	1~2①②③④		1				○					1	
		環境教育手法	1~2①②③④		1				○					1	
		日本の農業と農村社会	1~2①②③④		1				○					1	
		異文化組織で働く	1~2①②③④		1				○					1	
		茶の湯にみる日本文化2:作法と精神	1~2①②③④		1				○					1	
		茶の湯にみる日本文化1:日本の美と文化史	1~2①②③④		1				○					1	
		国際協力とプロジェクト管理	1~2①②③④		1				○					1	
		語学研修・サマーコース	1~2①②③④		1					○				3	
		海外留学ガイダンス	1~2①②③④		1					○				3	
		異文化理解1	1~2①②③④		1				○					1	
		グローバル人材育成特別コース入門	1~2①②③④		1				○					1	
		日本文化理解1	1~2①②③④		1				○					1	
		Japan in the Age of Globalization 1	1~2①②③④		1				○					1	
		Japan in the Age of Globalization 2	1~2①②③④		1				○					1	
		Principles of Management	1~2①②③④		1				○					1	
		Culture and Illness	1~2①②③④		2				○					1	
		L-cafe で学ぶグローバル基礎力	1~2①②③④		1				○					1	
		語学研修・スプリングコース	1~2①②③④		1					○				3	
		人間関係・コミュニケーションの黄金律を学ぶ	1~2①②③④		1				○					1	
		アートとコミュニケーションA	1~2①②③④		1					○				2	
		アートとコミュニケーションB	1~2①②③④		1					○				2	
		現代政治入門	1~2①②③④		1				○					1	
		史料に親しむ	1~2①②③④		1				○					1	
		ジェンダーと公正	1~2①②③④		1				○					1	
		科学技術史入門	1~2①②③④		1				○					1	
		ひとの言葉の起源と進化論	1~2①②③④		1				○					1	
		認知心理学1	1~2①②③④		1				○					1	
		教科書に載らない唐詩	1~2①②③④		0.5				○					1	
		現代の政治思想	1~2①②③④		1				○					1	
		現代社会と法	1~2①②③④		1				○					2	
		ゲーム理論入門	1~2①②③④		1				○					1	
		ハワイ研究入門I	1~2①②③④		1				○					1	
		ハワイ研究入門II	1~2①②③④		1				○					1	
グローバル社会における日本語教育	1~2①②③④		1				○					1			
Introduction to Development Studies	1~2①②③④		1				○					1			
ドイツ語海外研修(夏季)	1~2①②③④		2					○				1			
中国語海外研修(夏季)	1~2①②③④		1					○				1			
中国語海外研修(春季)	1~2①②③④		1					○				1			
韓国語海外研修(夏季)	1~2①②③④		1					○				1			
ダイバーシティ&インクルージョン概論	1~2①②③④		1				○					1			
日本サブカルチャー論	1~2①②③④		1				○					1			

教 育 課 程 等 の 概 要

(工学部工学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		基 幹 教 員 以 外 の 教 員 ( 助 手 を 除 く)
	アメリカ合衆国の過去と現在C1	1~2①②③④			1		○								1	
	アメリカ合衆国の過去と現在C2	1~2①②③④			1		○								1	
	教育における新聞活用の理論と実際	1~2①②③④			1			○							1	
	Sociological Imagination	1~2①②③④			2		○								1	
	Korean Diaspora	1~2①②③④			3		○								1	
	アーカイブズ入門	1~2①②③④			1		○								1	
	人間関係とセルフケア	1~2①②③④			1		○								1	
	Post-Apocalyptic Science Fiction	1~2①②③④			1		○								1	
	教養としての経済学	1~2①②③④			1		○								1	
	生活の中の創造性	1~2①②③④			1		○								2	
	世界史のなかの岡山-鎖国時代にみえる岡山の異国	1~2①②③④			1		○								1	
	世界史のなかの岡山-開国と激動のなかの岡山	1~2①②③④			1		○								1	
	世界史のなかの岡山-岡山の近代化=西洋化	1~2①②③④			1		○								1	
	世界史のなかの岡山-近代岡山と世界	1~2①②③④			1		○								1	
	アメリカ合衆国の過去と現在A1	1~2①②③④			1		○								1	
	アメリカ合衆国の過去と現在A2	1~2①②③④			1		○								1	
	アメリカ合衆国の過去と現在B1	1~2①②③④			1		○								1	
	アメリカ合衆国の過去と現在B2	1~2①②③④			1		○								1	
	アメリカ合衆国の過去と現在D1	1~2①②③④			1		○								1	
	アメリカ合衆国の過去と現在D2	1~2①②③④			1		○								1	
	成均館・吉林大学交流プログラム	1~2①②③④			1		○								1	
	慢性の病いところ	1~2①②③④			1		○								1	
	教養としての地理学1	1~2①②③④			1		○								1	
	ストレスと共生する	1~2①②③④			1		○								1	
	精神分析入門	1~2①②③④			1		○								1	
	社会統計	1~2①②③④			2		○								1	
	日本語史料としての狂言詞章	1~2①②③④			1		○								1	
	アイルランド文学入門	1~2①②③④			1		○								1	
	江戸時代の人と社会	1~2①②③④			1		○								1	
	中世地中海世界の歴史1	1~2①②③④			1		○								1	
	中世地中海世界の歴史2	1~2①②③④			1		○								1	
	セクシュアリティの文化史2	1~2①②③④			1		○								1	
	映像でみる20世紀の日本と世界2	1~2①②③④			1		○								1	
	物語と臨床心理学	1~2①②③④			1		○								1	
	子どもの歴史の学び方Ⅰ-今をつくる歴史-	1~2①②③④			1		○								1	
	子どもの歴史の学び方Ⅱ-未来をつくる歴史-	1~2①②③④			1		○								1	
	英語で論じる社会問題:反抑圧的視点	1~2①②③④			1		○								1	
	見えない、見えにくいことについて考える	1~2①②③④			1		○								1	
	教育と社会	1~2①②③④			1		○								1	
	チームマネジメントの心理学	1~2①②③④			1		○								1	
	心理学入門	1~2①②③④			1		○								1	
	学校数学における確率教育	1~2①②③④			1		○								1	
	保育と遊び	1~2①②③④			1		○								1	
	現代政治哲学	1~2①②③④			1		○								1	
	法をめぐる人と思想	1~2①②③④			1		○								1	
	社会イノベーション入門	1~2①②③④			1		○								1	
	社会起業入門	1~2①②③④			1		○								1	
	教養としてのグローバル経済	1~2①②③④			1		○								1	
	武士文学:侍の現実と虚構	1~2①②③④			1		○								1	
	日本の芸能	1~2①②③④			1		○								1	
	日本のジェンダーと社会	1~2①②③④			1		○								1	
	日本文学を通じた日本の社会と文化Ⅰ	1~2①②③④			1		○								1	
	日本の歴史と宗教	1~2①②③④			1		○								1	
	日本文学を通じた日本の社会と文化Ⅱ	1~2①②③④			1		○								1	
	日本語指導法1	1~2①②③④			1		○								1	
	日本語概論1	1~2①②③④			1		○								1	
	日本語指導法2	1~2①②③④			1		○								1	
	日本語概論2	1~2①②③④			1		○								1	
	日本語教材研究1	1~2①②③④			1		○								1	
	日本語教材研究2	1~2①②③④			1		○								1	
	日本語教育実習	1~2①②③④			1				○						1	
	日本語教育演習	1~2①②③④			1			○							1	
	アート思考とナラティブデザインをベースにしたコミュニケーション論1	1~2①②③④			2		○								3	
	アート思考とナラティブデザインをベースにしたコミュニケーション論2	1~2①②③④			2		○								3	
	アート思考とナラティブデザインをベースにしたコミュニケーション論3	1~2①②③④			2		○								3	
	アート思考とナラティブデザインをベースにしたコミュニケーション論4	1~2①②③④			2		○								3	
	テーブル・ロール・プレイング・ゲームを通して学ぶ物語の作法1	1~2①②③④			2		○								3	
	テーブル・ロール・プレイング・ゲームを通して学ぶ物語の作法2	1~2①②③④			2		○								3	
	フィールド・チャレンジⅠ	1~2①②③④			1				○						1	
現代 と 生命	医学入門(医学といのち)	1~2①②③④			1		○								7	
	生命の不思議1	1~2①②③④			1		○								1	
	生命倫理学入門2	1~2①②③④			1		○								6	
	感染症と戦う	1~2①②③④			1		○								8	
	死と生を見つめる-看取りの現場に向かう人文学	1~2①②③④			1		○								5	
	死と生を見つめる-介護の現場に向かう人文学	1~2①②③④			1		○								5	
	生活の中の医療	1~2①②③④			1		○								1	
	生命の不思議2	1~2①②③④			1		○								1	
	歯と骨の科学2	1~2①②③④			1		○								1	
	痛みの科学	1~2①②③④			1		○								1	
	日本を元気に！健康寿命延伸ビジネスを考える	1~2①②③④			1		○								1	

教 育 課 程 等 の 概 要															
(工学部工学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	分子から生命体へ	1~2①②③④			1		○							1	
	学際領域ベンチャー探索	1~2①②③④			1		○							1	
	ディッシュエンジニアリング入門	1~2①②③④			1		○							2	
	菌と骨の科学1	1~2①②③④			1		○							1	
	クスリとリスク	1~2①②③④			1		○							1	
	くすりの話	1~2①②③④			1		○							4	
	創薬化学	1~2①②③④			1		○							4	
	ヒトをみる	1~2①②③④			1		○							4	
	感じる科学	1~2①②③④			1		○							4	
	創薬研究を支える生命科学	1~2①②③④			1		○							8	
	化学物質って危ないの？	1~2①②③④			1		○							2	
	くすりはなぜ効くのか？	1~2①②③④			1		○							3	
	環境と健康	1~2①②③④			1		○							5	
	人生を変える身体の調査	1~2①②③④			1		○							7	
	人生を変える小さな生き物	1~2①②③④			1		○							3	
	健やかに生きるための経済学	1~2①②③④			1		○							2	
	健やかに生きるための発育・発達	1~2①②③④			1		○							2	
	生命誕生の神秘・いのちの不思議	1~2①②③④			1		○							3	
	ハンセン病と医療倫理	1~2①②③④			1		○							2	
	キャンパスライフとメンタルヘルス	1~2①②③④			1		○							1	
	コミュニケーション開発1	1~2①②③④			1		○							1	
	コミュニケーション開発2	1~2①②③④			1		○							1	
	口腔感染防御論	1~2①②③④			1		○							1	
	口腔内科学	1~2①②③④			1		○							4	
	からだの仕組み	1~2①②③④			1		○							1	
	健やかに生きるための看護	1~2①②③④			1		○							1	
	レポートの書き方講座～生物系編～	1~2①②③④			1		○							1	
	成長・老化の人間学	1~2①②③④			1		○							1	
	A Practical Guide to Intercultural Communication	1~2①②③④			1		○							1	
	細胞学	1~2①②③④			0.5		○							1	
	ゲノム医療入門	1~2①②③④			1		○							9	
	身近な薬草・毒草	1~2①②③④			1		○							1	
	ヒトのからだの仕組みと診断	1~2①②③④			1		○							3	
	「人間学講座：感動と伝わるコミュニケーション」	1~2①②③④			1		○							1	
	痛みの発生メカニズムと医療	1~2①②③④			1		○							1	
	社会と健康	1~2①②③④			1		○							4	
	社会医学入門	1~2①②③④			1		○							4	
	地域医療を考える	1~2①②③④			1		○							1	
	生命倫理学入門1	1~2①②③④			1		○							1	
	医療と放射線	1~2①②③④			1		○							1	
	医学・医療におけるリーダーシップとマネジメント	1~2①②③④			1		○							1	
	口の機能と健康管理	1~2①②③④			1		○							1	
	健康と口の病気	1~2①②③④			1		○							7	
	食と栄養の科学	1~2①②③④			1		○							1	
	学際的探究と臨床	1~2①②③④			1		○							1	
	口を構成する臓器を知る	1~2①②③④			1		○							8	
	遺伝子工学の新展開	1~2①②③④			1		○							1	
	Creativity, Critical Thinking & Innovation	1~2①②③④			1		○							1	
	Global Leadership in Practice	1~2①②③④			1		○							1	
	Introduction to Global Leadership	1~2①②③④			1		○							1	
現代 と 自然	微分と積分1	1~2①②③④			1		○							1	
	微分と積分2	1~2①②③④			1		○							1	
	線形代数1	1~2①②③④			1		○							1	
	線形代数2	1~2①②③④			1		○							1	
	数理学の世界A	1~2①②③④			1		○							1	
	数理学の世界B	1~2①②③④			1		○							2	
	数理学の世界C	1~2①②③④			1		○							1	
	教養物理学(電磁気学)1	1~2①②③④			1		○							1	
	素粒子と宇宙	1~2①②③④			1		○							2	
	教養物理学実験	1~2①②③④			1				○					1	
	教養物理学(電磁気学)2	1~2①②③④			1		○							1	
	現代社会と先端物理学	1~2①②③④			1									1	
	物理の法則と科学技術	1~2①②③④			1									1	
	教養物理学(力学)1	1~2①②③④			1		○							1	
	光と物理学	1~2①②③④			1		○							1	
	教養物理学(力学)2	1~2①②③④			1		○							1	
	トライロジーの世界	1~2①②③④			1		○							1	
	教養現代化学A1	1~2①②③④			1		○							1	
	教養有機化学1	1~2①②③④			1		○							1	
	教養現代化学B1	1~2①②③④			1		○							1	
	生命化学入門	1~2①②③④			1		○							2	
	教養現代化学A2	1~2①②③④			1		○							1	
	教養有機化学2	1~2①②③④			1		○							1	
	教養現代化学B2	1~2①②③④			1		○							1	
	教養化学実験	1~2①②③④			1					○				6	
	現代化学概論B	1~2①②③④			1		○							1	
教養生物学(動植物)	1~2①②③④			1		○							1		
生物学と技術	1~2①②③④			1		○							1		
教養生物学(細胞生物学)	1~2①②③④			1		○							1		

教 育 課 程 等 の 概 要															
(工学部工学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	
	食と人間	1~2①②③④			1		○							1	
	ガーデニングを学ぼう	1~2①②③④			1		○							3	
	教養生物学実験(一般基礎)	1~2①②③④			1				○					1	
	作物のルーツと栽培の歴史	1~2①②③④			1		○							1	
	生物と環境	1~2①②③④			1		○							1	
	教養生物学(一般生物学)1	1~2①②③④			1		○							1	
	生物資源保護	1~2①②③④			1		○							1	
	教養生物学(環境・生態・進化)	1~2①②③④			1		○							3	
	教養生物学(一般生物学)2	1~2①②③④			1		○							1	
	教養生物学(ライフサイエンス)	1~2①②③④			1		○							1	
	教養生物学実験(分子生物)	1~2①②③④			1				○					3	
	Basic Biology	1~2①②③④			1		○			○				1	
	固体地球惑星科学入門	1~2①②③④			1		○							2	
	Fundamentals of Earth Sciences	1~2①②③④			1		○							1	
	データから読み解く日本の気象・気候1	1~2①②③④			1		○							1	
	データから読み解く日本の気象・気候2	1~2①②③④			1		○							1	
	地球と惑星の大気科学	1~2①②③④			1		○							2	
	地球の歴史と現在	1~2①②③④			1		○							1	
	宇宙の科学	1~2①②③④			1		○							1	
	教養地球科学実験	1~2①②③④			1				○					7	
	環境問題とその解決のための化学技術	1~2①②③④			1		○							1	
	Fundamentals of Mathematics	1~2①②③④			1		○							1	
	Introductory Mathematics I	1~2①②③④			1		○							1	
	Introductory Mathematics II	1~2①②③④			1		○							1	
	Fundamentals of Physics II	1~2①②③④			1		○							1	
	Fundamentals of Physics I	1~2①②③④			1		○							1	
	Introductory Chemistry	1~2①②③④			1		○							1	
	Fundamentals of Chemistry	1~2①②③④			1		○							1	
	基礎生物学1a	1~2①②③④			1		○							1	
	基礎生物学1b	1~2①②③④			1		○							1	
	一般化学1	1~2①②③④			1		○							1	
	一般化学2	1~2①②③④			1		○							1	
	基礎有機化学1	1~2①②③④			1		○							1	
	基礎有機化学2	1~2①②③④			1		○							1	
	基礎地球科学2a	1~2①②③④			1		○							3	
	基礎地球科学2b	1~2①②③④			1		○							1	
	基礎生物学実験	1~2①②③④			1				○					2	
	基礎物質化学1	1~2①②③④			1		○							1	
	基礎物質化学2	1~2①②③④			1		○							1	
	農学概論1	1~2①②③④			1		○							3	
	農学概論2	1~2①②③④			1		○							3	
	農生命化学1	1~2①②③④			1		○							1	
	農生命化学2	1~2①②③④			1		○							1	
	農業生物学1	1~2①②③④			1		○							2	
	農業生物学2	1~2①②③④			1		○							2	
	農業資源学1	1~2①②③④			1		○							1	
	農業資源学2	1~2①②③④			1		○							1	
	農芸化学コース概論1	1~2①②③④			1		○							1	
	農芸化学コース概論2	1~2①②③④			1		○							1	
	応用植物科学コース概論1	1~2①②③④			1		○							1	
	応用植物科学コース概論2	1~2①②③④			1		○							1	
	応用動物科学コース概論1	1~2①②③④			1		○							1	
	応用動物科学コース概論2	1~2①②③④			1		○							1	
	環境生態学コース概論1	1~2①②③④			1		○							2	
	環境生態学コース概論2	1~2①②③④			1		○							2	
	基礎微生物学1	1~2①②③④			1		○							1	
	基礎微生物学2	1~2①②③④			1		○							1	
	基礎遺伝学1	1~2①②③④			1		○							3	
	基礎遺伝学2	1~2①②③④			1		○							3	
	基礎分子生物学1	1~2①②③④			1		○							1	
	基礎分子生物学2	1~2①②③④			1		○							1	
	生態学概論1	1~2①②③④			1		○							1	
	生態学概論2	1~2①②③④			1		○							1	
	農場体験実習	1~2①②③④			1				○					1	
	システム工学で何ができるか	1~2①②③④			1		○							1	
	教養現代物理学(量子力学)	1~2①②③④			1		○							1	
	教養物理学(初等電磁気学)1	1~2①②③④			1		○							2	
	教養物理学(初等電磁気学)2	1~2①②③④			1		○							2	
	現代化学	1~2①②③④			1		○							3	
	基礎微分積分学I	1~2①②③④			2		○							1	
	微分積分学I	1~2①②③④			2		○							1	
	線形代数I	1~2①②③④			2		○							1	
	現代数学要論I	1~2①②③④			2		○							1	
	基礎微分積分学II	1~2①②③④			2		○							1	
	微分積分学II	1~2①②③④			2		○							1	
	線形代数II	1~2①②③④			2		○							1	
	現代数学要論II	1~2①②③④			2		○							1	
	Chemistry for Chemical Engineering	1~2①②③④			1.5		○							1	
	Instrumental Analysis	1~2①②③④			1		○							1	
	Mathematics for Physical Chemistry	1~2①②③④			1.5		○							1	

教 育 課 程 等 の 概 要															
(工学部工学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	Introduction to Catalytic Chemistry	1~2①②③④			1		○							1	
	教養現代物理学(宇宙物理学)	1~2①②③④			1		○							1	
	生化学I	1~2①②③④			2		○							1	
	生物物理学I	1~2①②③④			1		○							1	
	生物物理学II	1~2①②③④			1		○							1	
	応用微生物学1	1~2①②③④			2		○							1	
	数理学への招待	1~2①②③④			1		○							2	
	文系のための基礎数学	1~2①②③④			1		○							1	
	ミニ実験で体験する物理入門	1~2①②③④			1		○							1	
	生活と物理学	1~2①②③④			1		○							1	
	現代化学概論A	1~2①②③④			1		○							1	
	身近な化学	1~2①②③④			1		○							1	
	教養生物学(応用植物科学)	1~2①②③④			1		○							1	
	瀬戸内海地域概論	1~2①②③④			1		○							1	
	SDGs: エネルギーとエントロピー	1③	○		1		○			1			1		
	SDGs: 地球と環境	1③	○		1		○			2			1		
	SDGs: 気象と水象	1③	○		1		○			2					
	SDGs: 化学イノベーション	1③	○		1		○			2	1				
	SDGs: 生命科学	1④	○		1		○				3		1		
	SDGs: 自然エネルギー利用技術	1④	○		1		○			1	2				
	SDGs: 循環型社会システム学	1④	○		1		○			1	1		1		
	SDGs: 社会生活と材料工学	1④	○		1		○			1					
	SDGs: 基礎地球科学(地球表層環境)	1③	○		1		○			2					
	SDGs: 森林資源と木材利用	1④	○		1		○							1	
	小計(327科目)	-	-	10	339.5	0	-	-	-	11	7	0	3	0	327
実 践 知 ・ 感 性	実践知	岡山の祭りとその運営-うらじゃへの参画-1			1		○								1
		岡山の祭りとその運営-うらじゃへの参画-2			1		○								1
		岡山まちづくり論(1)			1		○								1
		交流による子どもの成長支援I			1		○								1
		交流による子どもの成長支援II			1		○								1
		安全衛生入門			1		○								5
		岡山まちづくり論(2)			1		○								1
		日本でLGBT/SOGiの課題を考える			1		○								1
		サービスマーケティングA1			1		○								1
		サービスマーケティングA2			1		○								1
		サービスマーケティングB1			1		○								1
		サービスマーケティングB2			1		○								1
		SDGs入門			1		○								1
		地域の未来デザイン			1		○								1
		対話から学ぶシテイズンシップ			1		○								1
		地域文化資源運用実践演習			1		○								2
		対話による社会参画入門上級編			1		○								1
		アントレプレナーシップ I			1		○								1
		アントレプレナーシップ II			1		○								1
		アントレプレナーのための経営戦略概論(基本編)			1		○								1
		アントレプレナーのための経営戦略概論(応用編)			1		○								1
		地域社会とミュージアム			1		○								3
		岡山SDGsのまちづくり論			1		○								2
		倉敷水島まちづくり論			1		○								2
		コミュニティエンゲージメント概論			1		○								1
		プロジェクト・ゼロ(目標達成編)			1		○								1
		ESD「持続可能な開発のための教育」のホール・コミュニティ・アプローチ			1		○								1
		ファシリテーション型リーダーシップ			1		○								1
		Tourism in Okayama 1			1		○								2
		Tourism in Okayama 2			1		○								1
		留学生と学ぶ: 鳥取県三朝町に伝わる陣所「大綱引き」の運営			1		○								2
		グローバル対応海外留学・インターンシップ(短期)			1		○								2
		グローバル対応海外留学・インターンシップ(長期)			2		○								2
		グローバル海外短期実習			1		○								2
	クリエイティブディレクター養成(展開)-1			1		○								2	
	クリエイティブディレクター養成(展開)-2			1		○								2	
	岡山まちづくり論(3)			1		○								1	
	コミュニティ・ペースト・ラーニング実践1			1		○								1	
	ビデオグラファー養成・基礎 1			1		○								3	
	ビデオグラファー養成・基礎 2			1		○								3	
	ビデオグラファー養成・展開 1			1		○								3	
	ビデオグラファー養成・展開 2			1		○								3	
	地域の未来デザイン(実践編)			1		○								1	
	神仏行事から学ぶ日本: 御幸行列参加			1		○								2	
	対話による社会参画入門入門編			1		○								1	
	岡山の未来を考える			1		○								1	
	ビデオグラファー養成・企画実践 1			1		○								3	
	ビデオグラファー養成・企画実践 2			1		○								3	
	ビデオグラファー養成・制作演習 1			1		○								3	
	ビデオグラファー養成・制作演習 2			1		○								3	
芸 術 知	芸術と生活			1		○								1	
	芸術と社会			1		○								1	
	ユニバーサルデザイン			1		○								1	
	アートはあなたを映す鏡-みて、考えて、対話する			1		○								1	
	現代アート			1		○								1	

教 育 課 程 等 の 概 要																
(工学部工学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		基 幹 教 員 以 外 の 教 員
	日本の木文化	1~2①②③④			1		○								1	
	ヨーロッパ美術の中の人体	1~2①②③④			1		○								1	
	備前焼の評価の歴史と鑑定	1~2①②③④			1		○								1	
	音楽への招待	1~2①②③④			1		○								1	
	日本美術論	1~2①②③④			1		○								1	
	アフリカ文化入門	1~2①②③④			1		○								2	
	中国古典庭園の芸術と思想	1~2①②③④			1		○								1	
	日本舞踊入門	1~2①②③④			1		○								1	
	岡山県立美術館のコレクション	1~2①②③④			1		○								1	
	現代社会における美術館—大原美術館の事例を中心に	1~2①②③④			1		○								1	
	石と語る(石彫)	1~2①②③④			2		○								1	
	木と語る、玩具と語る	1~2①②③④			2		○								1	
	中国建築の歴史と象徴性	1~2①②③④			1		○								1	
	ベネッセアートサイト直島に作品が設置されるまで	1~2①②③④			1		○								3	
	近代日本美術の歴史と世界	1~2①②③④			1		○								1	
	デザインング	1~2①②③④			1		○								1	
	ガラス工芸	1~2①②③④			1		○								1	
	感性文化と音楽	1~2①②③④			1		○								1	
	箏曲入門	1~2①②③④			1		○								2	
	小計(74科目)	—	—	0	77	0	—	—	—	—	0	0	0	0	0	52
汎 用 的 技 能 と 健 康	情 報 教 育	情報処理入門1(情報機器の操作を含む)	1①	○	1		○								1	
		情報処理入門2(情報機器の操作を含む)	1②	○	1		○				2	1			4	
		情報処理入門3(情報機器の操作を含む)	1③			1		○							1	
		高度情報セキュリティ技術	1~2①②③④			1		○							1	
		インターネットと認証連携	1~2①②③④			1		○							1	
	目 サ 教 理 イ ン テ ン ス 科 タ	数理・データサイエンスの基礎	1③	○	1		○				3	1	1			4
		数理・データサイエンスの基礎演習A	1~2④			1		○							1	
		データ分析の基礎	1~2④			1		○							1	
		統計学の基礎(自然・生命)	1~2④			1		○							1	
		データ表現とアルゴリズム	1~2①②③④			1		○							1	
キ ャ リ ア 教 育	キャリアデザインI コミュニケーション力に磨きをかける	1~2①②③④			1		○								1	
	キャリアデザインIII プロジェクトを企画し実行する力を養う	1~2①②③④			1		○								1	
	キャリアデザインIV 企業を知り、業界を知る	1~2①②③④			1		○								1	
	キャリアデザインII つなげる!つながる!みんなのキャリア	1~2①②③④			1		○								1	
	アクセシビリティ実習	1~2①②③④			1		○								2	
	留学生支援ボランティア実習	1~2①②③④				1		○							1	
	学生支援ボランティア実習I	1~2①②③④				1		○							2	
	学生支援ボランティア実習II	1~2①②③④				1		○							2	
	学生支援ボランティア実習III	1~2①②③④				1		○							2	
	学生支援ボランティア実習IV	1~2①②③④				1		○							2	
	学生生活と人間関係	1~2①②③④			1		○								2	
	留学生のための就職活動	1~2①②③④			0.5		○								1	
	フィールドワークで学ぶビジネス入門	1~2①②③④			1		○								2	
	ウェルネス入門 2 (日本文化)	1~2①②③④			1		○								1	
	コミュニティ・サービス入門2	1~2①②③④			1		○								1	
	ライフスキル入門	1~2①②③④			1		○								3	
	人間関係の心理学	1~2①②③④			1		○								1	
	Self exploration through Creativity	1~2①②③④			1		○								1	
	感情的知性入門	1~2①②③④			1		○								1	
	障がい者支援演習①(身体障がい)	1~2①②③④			1		○								1	
障がい者支援演習②(精神・発達障がい)	1~2①②③④			1		○								1		
論理思考でディベート実践	1~2①②③④			1		○								2		
正課外教育入門—大学生活は自分の手で充実させよう—	1~2①②③④			1		○								1		
Introduction to the 8 dimensions of Wellness	1~2①②③④			1		○								1		
Introduction to Emotional Intelligence	1~2①②③④			1		○								1		
Role of Identity in Intercultural Communication	1~2①②③④			1		○								1		
健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学	健康・スポーツ科学A	1~2①②③④			1		○								1	
	健康・スポーツ科学B	1~2①②③④			1		○								2	
	健康・スポーツ科学C	1~2①②③④			1		○								1	
	支えるスポーツ演習A	1~2①②③④			2		○								2	
	するスポーツ演習	1~2①②③④			1		○								1	
	みるスポーツ演習B-I	1~2①②③④			1		○								1	
	みるスポーツ演習B-II	1~2①②③④			1		○								1	
	健康・スポーツ科学	1~2①②③④			1		○								1	
テ ク ア イ ・ カ ン ラ デ イ ミ ツ	アカデミック・ライティング	1~2①②③④			1		○								1	
小計(45科目)	—	—	3	37.5	5	—	—	—	—	3	3	2	0	0	64	
言 語	英 語	英語(スピーキング)ー1	1①②③④	○	0.5		○								1	
		英語(スピーキング)ー2	1①②③④	○	0.5		○								1	
		英語(リーディング)ー1	1①②③④	○	0.5		○								1	
		英語(リーディング)ー2	1①②③④	○	0.5		○								1	
		英語(ライティング)ー1	1①②③④	○	0.5		○								1	
		英語(ライティング)ー2	1①②③④	○	0.5		○								1	
		英語(リスニング)ー1	1①②③④	○	0.5		○								1	
		英語(リスニング)ー2	1①②③④	○	0.5		○								1	
		英語(総合)ー1	2①②	○	1		○								1	
		英語(総合)ー2	2①②	○	1		○								1	

**教 育 課 程 等 の 概 要**

(工学部工学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		基 幹 教 員 以 外 の 教 員
	プレ上級英語	1~2①②③④			1			○							1	
	プレ上級英語-1	1~2①②③④			1			○							1	
	プレ上級英語-2	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語	1~2①②③④			0.5			○							1	
	上級英語	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語-1	1~2①②③④			0.5			○							1	
	上級英語-1	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語-2	1~2①②③④			0.5			○							1	
	上級英語-2	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語(AC1)	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語(AC2)	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語(GC)	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語(IGS)	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語(IRC)	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語(ISC)	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語(MUN)	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語-1(RWC)	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語-2(RWC)	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語(IELTS)	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語-1(IELTS)	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語-2(IELTS)	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語(TOEFL)	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語-1(TOEIC)	1~2①②③④			1			○							1	
	上級英語-2(TOEIC)	1~2①②③④			1			○							1	
	プレ上級英語(Bridge - Business)	1~2①②③④			0.5			○							1	
	上級英語(Bridge - Academic)	1~2①②③④			0.5			○							1	
	上級英語(TOEIC)	1~2①②③④			1			○							1	
初 修 外 国 語	ドイツ語初級I-1	1~2①②③④			1			○							1	
	ドイツ語初級I-2	1~2①②③④			1			○							1	
	ドイツ語初級II-1	1~2①②③④			1			○							1	
	ドイツ語初級II-2	1~2①②③④			1			○							1	
	ドイツ語初級I-1(インテンシブ)	1~2①②③④			2			○							1	
	ドイツ語初級I-2(インテンシブ)	1~2①②③④			2			○							1	
	ドイツ語初級II-1(インテンシブ)	1~2①②③④			2			○							1	
	ドイツ語初級II-2(インテンシブ)	1~2①②③④			2			○							1	
	ドイツ語初級I-1(会話)	1~2①②③④			0.5			○							1	
	ドイツ語初級I-2(会話)	1~2①②③④			0.5			○							1	
	ドイツ語初級II-1(会話)	1~2①②③④			0.5			○							1	
	ドイツ語初級II-2(会話)	1~2①②③④			0.5			○							1	
	ドイツ語中級	1~2①②③④			1			○							1	
	フランス語初級I-1	1~2①②③④			1			○							1	
	フランス語初級I-2	1~2①②③④			1			○							1	
	フランス語初級II-1	1~2①②③④			1			○							1	
	フランス語初級II-2	1~2①②③④			1			○							1	
	フランス語初級I-1(インテンシブ)	1~2①②③④			2			○							1	
	フランス語初級I-2(インテンシブ)	1~2①②③④			2			○							1	
	フランス語初級II-1(インテンシブ)	1~2①②③④			2			○							1	
	フランス語初級II-2(インテンシブ)	1~2①②③④			2			○							1	
	フランス語初級I-1(会話)	1~2①②③④			1			○							1	
	フランス語初級I-2(会話)	1~2①②③④			1			○							1	
	フランス語初級II-1(会話)	1~2①②③④			1			○							1	
	フランス語初級II-2(会話)	1~2①②③④			1			○							1	
	フランス語中級	1~2①②③④			1			○							1	
	中国語初級I-1	1~2①②③④			1			○							1	
	中国語初級I-2	1~2①②③④			1			○							1	
	中国語初級II-1	1~2①②③④			1			○							1	
	中国語初級II-2	1~2①②③④			1			○							1	
	中国語初級I-1(インテンシブ)	1~2①②③④			2			○							1	
	中国語初級I-2(インテンシブ)	1~2①②③④			2			○							1	
	中国語初級II-1(インテンシブ)	1~2①②③④			2			○							1	
	中国語初級II-2(インテンシブ)	1~2①②③④			2			○							1	
	中国語中級	1~2①②③④			1			○							1	
	中国語上級	1~2①②③④			1			○							1	
	韓国語初級I-1	1~2①②③④			1			○							1	
	韓国語初級I-2	1~2①②③④			1			○							1	
	韓国語初級II-1	1~2①②③④			1			○							1	
	韓国語初級II-2	1~2①②③④			1			○							1	
	韓国語初級I-1(インテンシブ)	1~2①②③④			2			○							1	
	韓国語初級I-2(インテンシブ)	1~2①②③④			2			○							1	
	韓国語初級II-1(インテンシブ)	1~2①②③④			2			○							1	
	韓国語初級II-2(インテンシブ)	1~2①②③④			2			○							1	
	韓国語中級	1~2①②③④			1			○							1	
ロシア語ベーシック1	1~2①②③④			1			○							1		
ロシア語ベーシック2	1~2①②③④			1			○							1		
ロシア語ベーシック3	1~2①②③④			1			○							1		
ロシア語ベーシック4	1~2①②③④			1			○							1		
ロシア語ステップアップ	1~2①②③④			1			○							1		
スペイン語ベーシック1	1~2①②③④			1			○							1		
スペイン語ベーシック2	1~2①②③④			1			○							1		
スペイン語ベーシック3	1~2①②③④			1			○							1		



教 育 課 程 等 の 概 要																	
(工学部工学科)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教 員 以 外 の 教 員		
	スペイン語ベーシック4	1~2①②③④			1			○							1		
	スペイン語ステップアップ	1~2①②③④			1			○							1		
	イタリア語ベーシック1	1~2①②③④			1			○							1		
	イタリア語ベーシック2	1~2①②③④			1			○							1		
	イタリア語ベーシック3	1~2①②③④			1			○							1		
	イタリア語ベーシック4	1~2①②③④			1			○							1		
	イタリア語ステップアップ	1~2①②③④			1			○							1		
	ドイツ語中級(会話)	1~2①②③④			0.5			○							1		
	日 本 語	応用日本語(聞<A1)	1~2①②③④			1			○							1	
		応用日本語(聞<A2)	1~2①②③④			1			○							1	
		応用日本語(聞<B1)	1~2①②③④			1			○							1	
		応用日本語(聞<B2)	1~2①②③④			1			○							1	
		応用日本語(書<B1)	1~2①②③④			1			○							1	
		応用日本語(書<B2)	1~2①②③④			1			○							1	
応用日本語(書<A1)		1~2①②③④			1			○							1		
応用日本語(書<A2)		1~2①②③④			1			○							1		
応用日本語(話すB1)		1~2①②③④			1			○							1		
応用日本語(話すB2)		1~2①②③④			1			○							1		
応用日本語(話すA1)		1~2①②③④			1			○							1		
応用日本語(話すA2)		1~2①②③④			1			○							1		
応用日本語(読むA1)		1~2①②③④			1			○							1		
応用日本語(読むA2)		1~2①②③④			1			○							1		
応用日本語(読むB1)	1~2①②③④			1			○							1			
応用日本語(読むB2)	1~2①②③④			1			○							1			
小計(114科目)		—	—	6	115	0		—		0	0	0	0	0	0	88	
高 年 次 教 養	工学倫理	3①③④	○	1				○			1			2		2	
	機械システム系概論	3③	○	0.5				○				3					
	環境・社会基盤系概論	3③	○	0.5				○				3		1			
	情報・電気・数理データサイエンス系概論	3③	○	0.5				○			1	6					
	化学・生命系概論	3③	○	0.5				○			2						
小計(5科目)		—	—	3	0	0		—		4	12	0	3	0	2		
専 門 教 育 科 目	専門基礎科目	微分積分	1①②	○	2			○			5	1	1			5	
	線形代数	1①②	○	2				○			3	3	2			3	
	工学基礎実験実習	1①②	○	2					○		1	12	2	16		1	
	工学安全教育	1③	○	1				○			4	6		1			
	専門英語	3①	○	2				○			11	5		1		4	
	物理学基礎(力学)	1③④	○	2				○			2	4				4	
	物理学基礎(電磁気学)	1③④			2			○			1	3					
	化学基礎	1②			2			○			3	4		1			
	生物学基礎	1③④			2			○			3						
	プログラミング	1③④			2			○			1	4		5			
	微分方程式	1③④	○	2				○			4	4				2	
	数理・データサイエンス(発展)	1④	○	1				○			4	2		2			
	小計(12科目)		—	—	14	8	0		—		29	34	5	21	0	18	
機 械 シ ス テ ム 系 科 目	フーリエ・ラプラス変換	2①	○	2				○			1	1					
	ベクトル・複素解析	2②	○	2				○			2						
	機械工作実習Ⅰ	2①②	○	1							1	2		1			
	機械工作実習Ⅱ	2③④	○	1							1	4					
	基本機械システム製図	2①②	○	2							1	3		1			
	振動工学	3①	○	2				○			1	1					
	材料力学Ⅰ	2①	○	2				○			1	2				1	
	機械工作法	2①	○	2				○			2						
	熱力学Ⅰ	2②	○	2				○			1	1					
	流体力学Ⅰ	3①	○	2				○			1	1					
	電子回路	2②	○	2				○			1	1					
	システム制御Ⅰ	2③④	○	2				○			1		1				
	技術表現法	3④	○	1				○				1			1		
	機械システム工学セミナーⅠ	3①	○	1				○			1	1					
	機械システム工学セミナーⅡ	3③	○	1				○			1	1				1	
	機械システム工学総合実習	4通	○	4					○		17	13	3	14			
	特別研究	4通	○	10						○	17	13	3	14			
	重積分	2①			1			○				1					
	偏微分方程式	2②			1			○				1		1			
	工業力学	2③			2			○			2						
	機械加工学	2④			2			○			1						
	生産システム学	3②			2			○				1					
計測工学	3②			2			○				1						
ロボティクス基礎	3①			1			○			1							
インターンシップ(長期)	3休			2				○		1	1						
インターンシップ(短期)	3休			1				○		1	1						
実践コミュニケーション論	1・2③④			2			○			1					5		
小計(27科目)		—	—	39	16	0		—		18	13	3	14	0	7		

教 育 課 程 等 の 概 要																		
(工学部工学科)																		
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考			
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		基 幹 教 員 以 外 の 教 員		
機 械 工 学 コ ー ス 科 目	創成プロジェクト	2③④	○	2					○									
	創造工学実験	3①③④	○	5					○			1						
	機械工学英語	3③④	○	2								4						
	選 択 A 群	材料力学Ⅱ	2③		2			○				1	1					1
		熱力学Ⅱ	2④		2			○				1	1					
		流体力学Ⅱ	3③		2			○				1	1					
		材料工学	2③		2			○					1					
		機械設計学	3②		2			○				1	1					
		機構デザイン学	2④		2			○				1	1					
		特殊加工学	3②		2			○				1	1					
		伝熱学	3③		2			○				1	1					
	選 択 B 群	メカニカルデザイン基礎	3③④		2					○		1	1					1
		数値シミュレーション	3③④		2					○		1	1					
		材料応用学	3④		1			○				1	1					
		塑性工学	3④		1			○				1	1					
潜熱移動学		3④		1			○				1	1						
エネルギー工学	3①		1			○				1	1							
CAD	3③④		1					○			2							
小計(18科目)	—	—	9	25	0	—	—	—	—	7	5	1	4	0	2		オムニバス	
ロ ボ テ ィ ク ス ・ 知 能 シ ス テ ム コ ー ス 科 目	システム工学総合Ⅰ	3①	○	2					○		1							
	システム工学総合Ⅱ	3③④	○	4					○									
	工学実践英語Ⅰ	3③	○	1				○			1						2	
	工学実践英語Ⅱ	3④	○	1				○			1						2	
	デジタル回路	2④		2				○										
	システムCAD	2③		1					○									
	ロボット機構学	2④		1				○				1						
	メカトロニクス基礎Ⅰ	2③		1				○			1							
	メカトロニクス基礎Ⅱ	2④		1				○			1							
	ロボットビジョン	3②		1				○				1						
	システム制御Ⅱ	3②		1				○			1							
	エネルギー環境システム基礎論	3③		1				○			1	1						
	認知工学	3②		2				○			1							
	知的制御システム	3④		1				○				1						
	知能ロボット運用論	3④		1				○			1							
	オペレーションズ・リサーチⅠ	3②		1				○			1							
	オペレーションズ・リサーチⅡ	3③		1				○			1							
	オペレーションズ・リサーチⅢ	3④		1				○			1							
	メカトロニクス応用	3②		1				○			1							
	移動ロボット学	3③		1				○			1						1	
	ロボットダイナミクス	3③④		2				○			1							
インターフェイス設計学	3③		1				○			1								
小計(22科目)	—	—	8	21	0	—	—	—	—	6	5	0	4	0	3		オムニバス	
環 境 ・ 社 会 基 盤 系 科 目	測量学Ⅰ及び実習	1①②	○	3				○			1	2		1				
	測量学Ⅱ及び実習	1③④			3			○			2							
	環境物理化学	1①		1				○			1	1						
	環境化学	1②		1				○			1	1						
	構造力学Ⅰ及び演習	1①②	○	3				○			2							
	構造力学Ⅱ	1③④	○	2				○			2							
	土質力学Ⅰ及び演習	2①②	○	3				○			2							
	土質力学Ⅱ	2③④		2				○				1						
	水理学及び演習	2③④	○	3				○			1	3						
	キャリア形成論	3①	○	1				○			3							
	インターンシップ(長期)	3休		2						○	2	1						
	インターンシップ(短期)	3休		1						○	2	1						
	技術表現法	3④	○	1				○			1	1						
	実践コミュニケーション論	1・2③④		2				○			1						5	
特別研究	4通	○	10					○		16	14	1	4					
小計(15科目)	—	—	26	12	0	—	—	—	—	17	14	1	4	0	5		オムニバス	
都 市 環 境 創 成 コ ー ス 科 目	工業数学Ⅰ	2①②	○	2				○										
	工業数学Ⅱ	2③④	○	2				○										
	数値解析及び演習	2①②	○	2				○			2							
	CAD及びIoT技術	2③	○	1				○			1	1						
	振動学及び演習	2①②	○	3				○			1							
	鋼構造設計学及び演習	2③④	○	3				○			1						1	
	コンクリート構造設計学Ⅰ及び演習	2①②	○	3				○			1	2					1	
	コンクリート構造設計学Ⅱ	2③④	○	2				○			1	2					1	
	構造材料学	2③④	○	2				○			1	1					1	
	建設施工学	2③④	○	2				○			1						1	
	景観論	2①②		2				○				1						
	都市・地域計画学	2①②		2				○				1						
	交通まちづくり計画学	2①②		2				○				1						
	計画数理	2③④	○	2				○			1							
	道路政策論	3①		1				○			1							
	都市解析学	3③④		2				○			1	1					共同	
	計画学演習	3③④		1				○			1	3					オムニバス	
土質試験法及び実験	3③④	○	1				○			1								
材料試験法及び実験	3③④	○	1				○			1	1					共同		
小計(19科目)	—	—	26	10	0	—	—	—	—	5	8	0	0	0	3			

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(工学部工学科)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		基 幹 教 員 以 外 の 教 員	
土木教育プログラム科目	水理設計学及び演習	3①	○	3			○				1				1	オムニバス、※演習	
	水理計測法及び実験	3③④	○	1					○		2				1	共同	
	河川環境学	3①	○	2			○				1				3	オムニバス	
	地下水工学	3①	○	2			○				1						
	環境水理学	3①	○	2			○				1						
	水質学	3①	○	2			○				1				1	オムニバス	
	水道工学	3③	○	1			○				1						
	下水道工学	3④	○	1			○				1						
	環境衛生学実験	3③④	○	1					○		1					1	オムニバス
	小計(9科目)	—	—	15	0	0	—	—	—	—	2	2	0	0	0	4	
	建築教育プログラム科目	建築設計	3通	○	4			○				1					
		建築製図	3②③④	○	3					○		1					
		インテリア計画	3①②	○	2			○				1					
		建築計画学及び演習	3③④	○	3			○				1		1			※演習
		建築史	3③④	○	2			○				1		1			
		建築法規	3③④	○	2			○				1		1			
		建築環境工学	3①②	○	2			○				1				1	
		建築設備	3③④	○	2			○				1					
		都市環境計画学	3①②	○	2			○				1					
小計(9科目)	—	—	22	0	0	—	—	—	—	1	3	1	0	0	1		
環境マネジメントコース科目	環境マネジメントコース演習	3①	○	2			○				1	3		1			
	分野演習	3③	○	1			○				1						
	土壌科学概論	2①	○	2			○				1						
	植生管理学	2③	○	2			○				1			1			
	水生動物学	3④	○	2			○				1						
	土壌物理学	2②	○	2			○				1						
	生産基盤管理学	2④	○	2			○				1						
	流域水文学	2④	○	2			○				1						
	水資源利用学	3③	○	2			○				1						
	水文環境管理学	3④	○	2			○				1	1					
	環境施設設計学	3③	○	2			○				1						
	農村計画学	2④	○	2			○				1						
	農村整備学	3①	○	2			○				1					1	
	環境生物学実験	3①	○	1					○		1				1	オムニバス	
	土壌環境実験	3③	○	1					○		2			1		オムニバス	
	水利実験	3①	○	1					○		2					共同	
	環境材料学実験	3④	○	1					○		2					共同	
	環境と生物	2①			2		○				1				1	オムニバス	
	土壌の物質移動学	2③			2		○				1			1			
	水利設計学	3②			2		○				1						
	環境気象学	2②			2		○				1	1					
	実践型水辺環境学及び演習Ⅰ	2①			2		○		○		1			1			
	実践型水辺環境学及び演習Ⅱ	2②			2		○		○		1			1			
土壌圏管理学	3②			2		○				1							
環境施設材料学	3②			2		○				1							
環境施設管理学	3④			2		○				1	1						
公共財管理論	3③			2		○				1							
環境影響評価学	3①	○	2			○				1			1				
廃棄物マネジメント	3①	○	2			○				1	1						
小計(29科目)	—	—	33	20	0	—	—	—	—	9	5	0	3	0	2		
工情 ン 報 ・ 電 気 ・ 数 理 デ ー タ サイ	技術表現法	3④	○	1			○				1		1			1	
	特別研究	4通	○	10			○				25	18	4	16			
	統計データ解析基礎	2①			2		○				2						
	フーリエ解析・ラプラス変換	2②			2		○				1	1					
	数値計算法	2③			2		○				1	1					
	情報理論	2④			2		○				1		1				
	実践コミュニケーション論	1・2③④			2		○				1					5	
小計(7科目)	—	—	11	10	0	—	—	—	—	25	18	4	16	0	6		
コ ー ス 共 通	データ構造とアルゴリズム	2①	○	2			○				2	1				オムニバス	
	回路理論A	2①	○	2			○					1				情報工学コース、および、ネットワーク工学	
	微分積分B	2①	○	1			○					1				コースのみ	
	UNIXプログラミング	3①	○	2			○		○			1					
	キャリア形成	3①③④	○	1			○				1			1			

教 育 課 程 等 の 概 要																			
(工学部工学科)																			
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考				
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		基 幹 教 員 以 外 の 教 員			
ネット ワーク 工学 コース にお ける 選 択 科 目 の 科 目 群 エ レ ク ト ニ ク ス コ ー ス	A ベクトル解析(NE・EE)	2①②			2		○				1								
	A 線形代数B	2②			1		○				1								
	A 論理回路	2②			2		○				1								
	A 電磁気学A	2②			2		○				1								
	A 回路理論B	2③			2		○				1								
	A コンピュータ数学	2③			2		○				1	1					1		
	A 回路過渡解析	2④			2		○				1								
	A 電子回路A	2④			2		○				1								
	A 通信工学	3①			2		○					1							
	A 伝送線路	3①			2		○					1							
	A 複素解析	3①			2		○					1							
	A 電子物性工学基礎	3①			2		○					1							
	A パルス・デジタル回路	3②			2		○					1							
	A デジタル信号処理(NE・EE)	3②			1		○					1							
	A 電子計測	3②			2		○											1	
	A 電波工学	3②			1		○					1							
A インターンシップ(NE・EE)(長期)	3休			2							1								
A インターンシップ(NE・EE)(短期)	3休			1							1								
小計(23科目)		—	—	8	32	0	—	—	—	—	12	8	0	1	0	2			
情 報 工 学 コ ー ス 科 目	グラフ理論(情報)	2①	○	2			○				1								
	プログラミング演習1	2①	○	1				○			1				3		1	オムニバス	
	プログラミング演習2	2②	○	1					○		1				3		1	オムニバス	
	コンピュータハードウェア	2②	○	2				○			1								
	応用解析	2②	○	2				○			1								
	オペレーティングシステム	2③	○	2				○			1							1	
	コンピュータアーキテクチャ I	2③	○	2				○			1								
	システムプログラミング1	2③	○	1				○				2						オムニバス	
	システムプログラミング2	2④	○	1				○				2						オムニバス	
	応用数学	2④	○	2				○			1								
	プログラミング技法	3①	○	2				○				1							
	プログラミング言語	3①	○	2				○			1				1			オムニバス	
	人工知能	3①	○	2				○			1								
	知識工学	3①	○	2				○			1								
	情報工学実験A(ハードウェア)	3①	○	3					○			1		1	2			オムニバス	
	ソフトウェア設計	3③	○	2				○			1								
	情報ネットワーク論	3③	○	2				○			1								
	コンパイル	3③	○	2				○			1				1				
	情報工学実験B(メディア処理)	3③	○	3					○		1	1			2			オムニバス	
	並列分散処理	3④	○	2				○			1							1	
	情報工学実験C(ソフトウェア)	3④	○	3					○		1	1			2			オムニバス	
	パターン認識と学習	2③			1			○				1							
	計算機数学	2③			1			○			1								1
	数理論理学	2③			1			○			1								
	コンピュータアーキテクチャ II	2④			2			○			1								
	画像処理	2④			2			○			1								
	論理設計	2④			1			○					1						
	オブジェクト指向言語	3②			2			○							1				
	データベース	3②			2			○			1								1
	情報セキュリティ	3②			2			○			1								
	応用線形代数	3②			2			○			1								
	オートマトンと言語理論	3②			2			○			1								
言語解析論	3②			1			○				1								
インターンシップ(情報)(長期)	3休			2					○		1								
インターンシップ(情報)(短期)	3休			1					○		1								
アルゴリズムと計算量	3②			1			○				1								
デジタル信号処理(情報)	3③			2			○				1								
ソフトウェア工学	3④			1			○			1									
映像メディア処理	3④			1			○			1									
情報化における職業1	3②			1			○				1							1	
情報化における職業2	3④			1			○				1							1	
小計(41科目)		—	—	41	29	0	—	—	—	—	6	5	1	6	0	6			
ネ ッ ト ワ ー ク 工 学 コ ー ス に お け る 選 択 科 目 の 科 目 群	ネットワーク工学実験A	2③④	○	2						○					5				
	コンピュータネットワークA	2④	○	2				○			1								
	ネットワーク工学実験B	3③④	○	2						○		3			3				
	B 画像工学	2③			2			○				1							
	B コンピュータアーキテクチャ	3①			2			○			1								
	B ネットワークプログラミング実験	3①②			2					○		1			2				
	B マルチメディア工学	3休			2			○			1							1	
	B モバイル通信	3②			2			○				1							
	B コンピュータネットワークB	3②			2			○			1								
	B オブジェクト指向プログラミング	3③			2			○			1								
	B セキュリティ概論	3③			2			○			2	1			2				
	B セキュリティ実践論	3③④			2			○			1								
B 確率統計論	3④			2			○				1								
B グラフ理論(NE)	3④			2			○			1									
B ハードウェアセキュリティ実験	3休			1					○		1			2					
B 情報化社会と技術	4①②			2			○			1									
小計(16科目)		—	—	6	25	0	—	—	—	—	3	4	0	8	0	1			

教 育 課 程 等 の 概 要

(工学部工学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外 (助手を除く) の教員		
エネルギー・エレクトロニクスコース科目	電磁気学B	2③	○	2			○			1								
	エネルギー・エレクトロニクス実験A	2③④	○	2									5					
	電気機器学A	2④	○	2			○			1								
	エネルギー・エレクトロニクス実験B	3③④	○	2					○		3			3				
	B 電子回路B	3①			2			○			1							
	B 電力・モータ実験	3休			2								4					
	B 電気機器学B	3①②			2			○		1								
	B 電子物性工学	3②			2			○		1								
	B 制御工学A	3③			2			○			1							
	B 電力系統工学A	3③			2			○			1							
	B 半導体・デバイス工学	3③			2			○			1							
	B オプトエレクトロニクス	3③			2			○			1							
	B 電気電子材料学	3④			2			○				1						
	B 制御工学B	3④			2			○				1						1
	B 電力系統工学B	3④			2			○				1						1
	B パワーエレクトロニクス	3④			2			○				1						1
	B 電力発生工学	4①②			2			○				1						1
	B 電気法規・施設管理	4①②			2			○				1						2
	B 電気設計学	4①②			2			○				1						1
小計(19科目)		-	-	8	30	0	-	-	-	5	8	0	7	0	6			
数理データサイエンスコース科目	微分積分統論及び演習1	2①	○	2			○			1								※演習
	微分積分統論及び演習2	2②	○	2			○			1								※演習
	線形代数統論及び演習1	2①	○	2			○				1							※演習
	線形代数統論及び演習2	2②	○	2			○				1							※演習
	数理プログラミング1	2①	○	1				○				1						※講義
	数理プログラミング2	2②	○	1				○				1						※講義
	統計データ解析演習1	2③	○	1				○		1								※講義
	統計データ解析演習2	2④	○	1				○		1								※講義
	データ活用基礎	2③	○	2				○		1								
	データ活用実践演習	3①	○	2					○	2	2							
	機械学習入門	3①	○	2					○			1						
	A 離散数学入門	2④			2			○		1								
	A ベクトル解析(数理)	2③			2			○			1							
	A 複素関数論	2④			2			○		1								
	A 代数系の基礎	3①			2			○		1								
	A 代数系の応用	3③			2			○		1								
	A 幾何学基礎	3②			2			○		1								
	B 常微分方程式と数理モデル	3①			2			○		1								2
	B 偏微分方程式とその応用	3③			2			○		1								
	B 数理モデリング	3②			2			○			1							
	B 非線形現象モデリング	3④			2			○			1							
	B 数値シミュレーション基礎	3①			2			○		1								
	B 数値シミュレーション応用	3③			2			○		1								
	B データ駆動計算基礎	3②			2			○			1							
	B データ駆動計算応用	3④			2			○			1							
	C 数理統計学	3①			2			○		1								
	C ベイズ統計基礎	3④			2			○			1							
C 統計モデリング	3③			2			○		1			1						
C 最適化理論	3③			2			○				1							
C 多変量データ解析A	3②			2			○		1									
C 多変量データ解析B	3②			2			○			1			1					
C 計算統計学A	3③			2			○		1			1						
C 計算統計学A	3④			2			○		1									
C 確率モデル論	3②			2			○				1							
C 確率過程論入門	3④			2			○				1							
D 確率過程論入門	3②			2			○		1									
D 数理モデリング特論A	3休			1			○		1								オムニバス、隔年	
D 数理モデリング特論B	3休			1			○		1								オムニバス、隔年	
D 統計データ解析特論A	3休			1			○				1						隔年	
D 統計データ解析特論B	3休			1			○		1								隔年	
D インターンシップ(長期)	3休			2					2									
D インターンシップ(短期)	3休			1					2									
小計(42科目)		-	-	18	57	0	-	-	-	6	3	3	0	0	4			
化学・生命系科目	無機化学1	1③④	○	2			○			1	1							
	物理化学1	1①②	○	2			○			2								
	有機化学1	1①②	○	2			○			3	2							
	生化学1	1③④	○	2			○			1		1						
	化学・生命系実験1	2①	○	1						3	3	2						オムニバス
	化学・生命系実験2	2④	○	1						3	1	3						オムニバス・共同(一部)
	無機化学2	2②	○	2			○			1	1							
	物理化学2	2①	○	2			○			2								
	有機化学2	2①	○	2			○			1	1							
	生化学2	2②	○	2			○			1	1							
	分析化学	2①②			2			○		1	2							オムニバス、共同(一部)
	量子化学	2①②			2			○			1	1						オムニバス
	化学工学1	2③④			2			○		1	1							
	工業材料1	2③④			2			○		3								
	機器分析	2③④			2			○		1	2							
高分子化学1	3①			2			○		1	1	1						オムニバス	
化学・生命系英語1	3①	○	1				○		1	1	1						2	



教 育 課 程 等 の 概 要																	
(工学部工学科)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		基 幹 教 員 以 外 の 教 員	
	情報ネットワーク論	3③	○	2			○				1						
	コンパイル	3③	○	2			○				1						
	情報工学実験B(メディア処理)	3③	○	3					○		1	1			2		1
	並列分散処理	3④	○	2			○				1						1
	情報工学実験C(ソフトウェア)	3④	○	3					○		1	1			2		1
	パターン認識と学習	2③			1		○				1	1					1
	計算機数学	2③			1		○				1						1
	数理論理学	2③			1		○				1	1					
	コンピュータアーキテクチャⅡ	2④			2		○				1						
	画像処理	2④			2		○				1						
	論理設計	2④			1		○						1				
	オブジェクト指向言語	3②			2		○							1			1
	データベース	3②			2		○				1						
	情報セキュリティ	3②			2		○				1	1					
	応用線形代数	3②			2		○				1						
	オートマトンと言語理論	3②			2		○				1						
	言語解析論	3②			1		○										
	インターシッパ(情報)(長期)	3休			2				○			1	1				
	インターシッパ(情報)(短期)	3休			1				○			1	1				
	アルゴリズムと計算量	3②			1		○					1	1				
	デジタル信号処理(情報)	3③			2		○					1	1				
	ソフトウェア工学	3④			1		○				1						
	映像メディア処理	3④			1		○				1						
	情報化における職業1	3②			1		○					1					1
	情報化における職業2	3④			1		○					1					1
	特別研究	4通	○	10					○		10	8	1	9	0		1
	小計(44科目)	—	—	55	29	0			—		11	8	1	9	0		6
教員免許 取得関係科目	教育学概説B	1休				2	○										1
	教職入門DⅠ	2①				1	○										2
	教職入門DⅡ	2②				1	○										2
	教育の制度と社会DⅠ	2③				1	○										1
	教育の制度と社会DⅡ	2④				1	○										1
	人権・同和教育B	1③④				2	○										1
	教育心理学概説ⅠB	1③				1	○										1
	教育心理学概説ⅡB	1④				1	○										1
	特別支援教育の基本B	3				1	○										1
	カリキュラム論BⅠ	2休				1	○										1
	カリキュラム論BⅡ	2休				1	○										1
小計(11科目)	—			0	0	13			—		0	0	0	0	0		13
教等道 徳、指 導、総 論等法 に及 びな る生 徒学 習の 時、間	道徳教育論DⅠ	3				1	○										1
	道徳教育論DⅡ	3				1	○										1
	総合的な学習の時間の指導法B	1②				1	○										1
	特別活動論B	1①				1	○										1
	教育方法論DⅠ	2休				1	○										1
	教育方法論DⅡ	2休				1	○										1
	生徒指導論DⅠ	2①				1	○										1
	生徒指導論DⅡ	2②				1	○										1
	教育相談論B	3				1	○										1
	進路指導論B	3				1	○										1
小計(10科目)	—			0	0	10			—		0	0	0	0	0		10
関 育 す 実 科 目 に	教育実習Ⅱ(教育実習基礎研究)	3・4				1											1
	教育実習Ⅳ(中学校)	4				4											1
	教育実習Ⅴ(高等学校)	4				2											1
	教職実践演習(中・高)	4				2			○								1
小計(4科目)	—			0	0	9			—		0	0	0	0	0		4
教 科 及 び 教 科 の 指 導 法 に 関 する 科 目	中等数学科指導法(基礎Ⅰ)	2③				1	○										1
	中等数学科指導法(基礎Ⅱ)	2④				1	○										1
	中等数学科指導法基礎B	1③④				2	○										1
	中等数学科指導法開発(基礎Ⅰ)	3				1	○										1
	中等数学科指導法開発(基礎Ⅱ)	3				1	○										1
	中等数学科指導法開発(応用Ⅰ)	3				1	○										1
	中等数学科指導法開発(応用Ⅱ)	3				1	○										1
	情報科指導法(基礎Ⅰ)	2③				1	○										1
	情報科指導法(基礎Ⅱ)	2④				1	○										1
	情報科指導法(応用Ⅰ)	2③				1	○										1
	情報科指導法(応用Ⅱ)	2④				1	○										1
	工業科指導法(基礎Ⅰ)	2				1	○										1
	工業科指導法(基礎Ⅱ)	2				1	○										1
	工業科指導法(応用Ⅰ)	2				1	○										1
工業科指導法(応用Ⅱ)	2				1	○										1	
工業概論	4③④				2	○										8	
職業指導概説	4①②				2	○										1	
小計(17科目)	—			0	0	20			—		0	0	0	0	0		24

教 育 課 程 等 の 概 要															
(工学部工学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
大 学 が 独 自 に 設 定 す る 科 目	教育における新聞活用の理論と実際	3			1	○								1	
	フィールド・チャレンジⅠ	1①②③④			1			○						1	
	フィールド・チャレンジⅡ②	1①②③④			1			○						1	
	フィールド・チャレンジⅡ③	1①②③④			1			○						1	
	くらしと環境Ⅰ	1休			1	○								1	
	くらしと環境Ⅱ	1休			1	○								1	
	学校経営と学校図書館	4			2	○								1	
	学習指導と学校図書館	4			2	○								1	
	学校図書館メディアの構成	4			2	○								1	
	読書と人間形成	4			2	○								1	
	情報メディアの活用	4			2	○								1	
小計(11科目)	—			0	0	16	—		0	0	0	0	0	11	
合計(1054科目)				—	—	427	959	79	—	81	66	11	51	0	666
学位又は称号				学士(工学)				学位又は学科の分野				工学関係			
卒業・修了要件及び履修方法														授業期間等	
【機械システム系】 教養教育科目30単位、専門基礎科目18単位(必修14単位、選択4単位)、系科目47単位(必修39単位、選択8単位)、コース科目31単位(機械工学コース:必修9単位、選択22単位、ロボティクス・知能システムコース:必修8単位、選択23単位)を修得し、合計126単位以上修得すること。 なお、機械工学コースのコース選択科目は選択科目A群から12単位以上を修得、かつメカニカルデザイン基礎及び数値シミュレーションのうちいずれか2単位修得すること。							1学年の学期区分					4期			
【環境・社会基盤系】 教養教育科目30単位、専門基礎科目16単位(必修14単位、選択2単位)、系科目とコース科目とプログラム科目の合計80単位(うち系科目必修26単位、コース共通科目必修26単位、土木教育プログラム必修15単位、建築教育プログラム必修22単位、環境マネジメントコース科目必修33単位であり、残りは選択科目)を修得し、合計126単位以上修得すること。							1学期の授業期間					8週			
【情報・電気・数理データサイエンス系】 教養教育科目30単位、専門基礎科目14単位以上18単位まで(必修10単位、選択4単位以上8単位まで)、系科目15単位以上19単位まで(必修11単位、選択4単位以上8単位まで(各コース4単位の必修科目があります))、コース科目(情報工学コース科目:必修43単位、選択16単位以上、ネットワーク工学コース科目:必修14単位、選択45単位以上、エネルギー・エレクトロニクスコース科目:必修14単位、選択45単位以上、数理データサイエンスコース科目:必修18単位、選択41単位以上)を修得し、合計126単位以上修得すること。 なお、ネットワーク工学コース科目とエネルギー・エレクトロニクスコース科目のコース選択科目は選択科目A群から20単位以上、B群から20単位以上を修得すること。数理データサイエンスコース科目のコース選択科目は選択科目A群から6単位以上、B群から4単位以上、C群から4単位以上を修得すること。							1時限の授業の標準時間					50分			
【化学・生命系】 教養教育科目30単位、専門基礎科目14単位(必修10単位、選択4単位)、系科目43単位(必修34単位、選択9単位)、コース科目39単位(応用化学コース科目:必修10単位、選択29単位、生命工学コース科目:必修8単位、選択31単位)を修得し、合計126単位以上修得すること。また、TOEIC L&Rが450点以上であること。															
【情報工学先進コース】 教養教育科目30単位、専門基礎科目14単位以上18単位まで(必修10単位、選択4単位以上8単位まで)、コース科目(A群)8単位以上12単位まで(必修8単位、選択4単位まで)、コース科目(B群)66単位以上(必修55単位、選択11単位以上)を修得し、合計126単位以上修得すること。															
※1年間の履修登録単位数の上限は50単位とし、前年度の成績が優秀な学生は、その年度に限り以下のとおり上限単位を超えて履修することを認める。 対象者:前年度に上限単位数の8割以上を修得し、以下の条件を満たす者 *平均点が80点以上の者・・・年間当たり8単位まで増加可能 *平均点が75点以上80点未満の者・・・年間当たり4単位まで増加可能 注)平均点=各修得科目(得点×単位数)の総和/修得総単位数															

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行うおとす場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行うおとす場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行うおとす場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校等の学科を設置する場合は、「主要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」と読み替えること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。  
(1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。  
(2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。  
(3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 高等専門学校等の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。